

鳴門で芸術と味覚の秋満喫

大塚国際美術館へ 阿波人形浄瑠璃へ



大塚国際美術館で名画に圧倒される

日本主婦連合会の年中行事の中でも一番楽しみにしている一泊研修旅行が11月14日(水)・15日(木)にありました。

今回は、近場でゆっくりしたいという会員からの要望を受けて徳島の鳴門公園内にある「大塚国際美術館」と「阿波十郎兵衛屋敷(人形浄瑠璃)」の鑑賞をメインに企画されました。

14日午前8時45分上本町へ塚本三丁目宮原下の順に参加人員25名消費者クラブ9名・主婦連16名は時間厳守で定刻から出発しました。

まず、橋本副会長が「洲上会長になつてから初めての一泊旅行です。消費者クラブの皆様もお忙しい中で参加頂き有難うございます。男性が5名もご出席下さいました。私は、私達の今後の活動に当てるべく心強く感謝申し上げます。」と朝の挨拶をされました。

サンケイトラベルの添乗員さんとも異動があり、信任の厚かった間瀬さんから岩崎さんに替わりました。女性ならではの気配りを期待しています。(早速のコーヒとお菓子の会しはあったです)

淡路島に渡り、ハイウェイオアシスでトイレ休憩をし、お土産第一号を仕入れた後自衛隊神社にお参りました。当社は神話・伊弉諾・伊弉冉命の国生みの聖地のお話を伺いました。

阿波踊りの講習や酒蔵見学も



阿波人形浄瑠璃を鑑賞した一行

存知の事と省かせて頂き、鳴門大橋を渡り屋敷会場「浜島」には12時に到着して海の幸たっぷりの和風御膳を頂き、大塚国際美術館には、2時30分に着きました。

「大塚国際美術館」は大塚グループ創立75周年記念事業として鳴門市に設立し、日本最大級の常設展示スペース(延床面積29,412㎡)と古代壁画から世界26ヶ国190余の美術館が所蔵する現代絵画まで、至宝の西洋名画1,000余点を特殊技術によって、オリジナル作品と同じ大きさで複製した陶芸美術品を有する地下3階地下3階の立派な美術館です。

私達はバスを降りて、山の樹々に覆われた正面玄関から41mの昇りエスカレーターに乗り地下3階に着きました。つまり3階は山を利用して造られています。

同美術館の岡村修三理事から主だった作品の説明を受けました。

まず案内されたのは地下3階にあるミケランジェロの「ダヴィッド」の複製品と、ミケランジェロ33才の時5年の歳月が掛かりました。フェルメールの部屋には「真珠の耳飾りの少女」等が展示されています。



2000年の歴史をもつ酒蔵を見学

時間は短かく勿体ない事になりました。陶板画は原寸大に再現されているため、実際の名画を見るがごとくの迫りや臨場感を味わうことが出来ます。2時間の鑑賞をして4時30分集合15分後には鳴門温泉ルネッサンスリゾートに到着しました。

夜の宴会は6時30分より始まり、ご挨拶は、重藤政直様が頂戴しました。重藤様は、主婦連事務所のある塚本二町会の町会長様です。今回ご出席の男性方は塚本の町会長・元民生委員の方ばかりで心強い限りです。

柴生不二雄様の乾杯の乾杯で、時間を受けました。由緒長い酒蔵を見学し、広げて、沢山あり過ぎ、

舌鼓を打ち、カラオケに手拍子を打つ至福の時間を味わう。陶板画は原寸大に再現されているため、実際の名画を見るがごとくの迫りや臨場感を味わうことが出来ます。2時間の鑑賞をして4時30分集合15分後には鳴門温泉ルネッサンスリゾートに到着しました。

宴会後は、阿波踊りの実演と講習会があり誘い合せて見学に行きました。三味線の軽快なお囃子につられて最後は、ほとんどの人が踊らなさんぐと踊りの輪の中に入っていました。

15日は9時15分の出発。今日の一番は「鳴門鯛」製造元(本家松浦酒造)の若林店長の案内で見学しました。創業2000年からの老舗で、ご先祖は瀬戸内に名を馳せ松浦水車の末裔だそう。新酒の試飲をさせて頂いて、家族に銘酒のお土産を買って、11時開演の「阿波人形浄瑠璃」を鑑賞するため「徳島県立阿波十郎兵衛屋敷」に向かいました。吉野河川の静かな田園地帯にあります。徳島が全国に誇る伝統芸能として受け継がれています。徳島の阿波人形浄瑠璃は屋外公演が多いため、文楽と比べて一回りも二回りも大きく光沢のある人形が使われています。上演される「傾城阿波の鳴門」は、藩の政策上の犠牲となり処刑された庄屋親子の情愛と輪廻の物語です。鑑賞のあと人形を囲んで写真撮影をしたら、さぞうべいの里に立ち寄り、2時に昼食場所のウェスティン淡路島に着きホテルバインギを堪能したのち帰途に着きました。

バスの中で岩崎添乗員さんから初参りの予定案が提出され、賛否の結果初参りは、1月16日(水)京都の護国神社と決定しました。洲上会長から「感謝の言葉と、前会長の事業を踏襲しながら時代に合った活動も考えて行きたい」と思っています。消費者クラブの皆様と共に歩んで行きたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。有難き企画と楽しい旅に頂けた添乗員さん・安全運転で時間通りに運んで頂いた運転手さん有難うございました。初参りも宜しくお願い致します」と結びました。

今回の旅行は、日本に居ながら世界の美術館が体験出来たこと、ゆったりと時間が過ぎ、食事が美味しかったのが印象に残りました。

芸術の秋、鳴門の秋に食欲の秋も加えたい旅でした。初参りもお願いいたします。上沢山のご参加をお待ちしております。